

中岳



平成21年度 社団法人熊本市歯科医師会通常総会
平成21年度 社団法人熊本市歯科医師会代議員会



熊本市歯科医師会会誌

第149号

目

次

巻頭言	蔵田 幸一 常務理事	1
平成21年度 社団法人熊本市歯科医師会通常総会		2
平成21年度 社団法人熊本市歯科医師会代議員会		5
第2回 熊本市歯科医師会学術講演会		7
第58回 熊本小児保健研究会		8
医療連携セミナー開催		10
熊本市エイズ総合対策推進会議		11
平成21年度 第2回開放型病院連絡会		12
第38回天草パールラインマラソン大会		13
医療法人伊東会伊東歯科口腔病院との開放型連絡協議会及び、歯科救急医療協議会		14
第3回 口腔ケア研究会		16
ネットスパート説明会&点数改正社保説明会		18
寄稿 「健口」が健康をつくる	前田 明浩	19
スタディー 顎骨壊死を誘発するビスフォスフォネート製剤について	片山建一・太田和俊	20
新人紹介		26
スポーツの広場		27
会務報告		28
総会資料		31
編集後記		

表紙のことば

日曜日、伝統工芸館に行ってふっと振り向くと楠若葉に囲まれた天守閣が青空にすがすがしくそびえていました。思わずシャッターを切った中の一枚です。
この新緑の中、春のお城を満喫しながら散策しました。

(Y. T)

巻 頭 言

一般社団法人への 移行認可に向けて



蔵田幸一 常務理事

皆様ご存知のとおり、平成20年12月1日から平成25年11月30日までの5年の間にそれまでの公益法人は公益社団法人、一般社団法人、公益財団法人、一般財団法人及び解散の何れかに移行しなければならなくなりました。本会もそれに対応すべく会務検討臨時委員会を設け、協議を重ね、一般社団法人へ移行する旨答申を受け、準備を進めている所であります。その一環として共済制度の廃止と基本財産の圧縮を昨年度行いました。何故これを行わなければならなかったかと言いますと、共済制度の積立金や基本財産の積立金は遊休財産とみなされ、一般社団法人へ移行した後ではこれらのお金は全て公益目的にしか支出できないというしほりがあったからです。共済に関しては今になって除外するという事になったのですが、何を今さら、そんなことは最初と言えという気持ちで一杯です。基本財産に関しても、全てを公益目的事業にしか支出できないなんてそんな馬鹿なという思いがありましたので、移行前に会員の為に、レセプトオンライン化に備えて昨年度一年間でネットスパートの支給とそれに付随するインターネットの接続費用等を会員一人当たり総額40万円の還元を行ったところであります。会員の中には何でこんなことをするのかと言われる方もおられましたが、要は基本財産を圧縮したい、多額のお金を公益目的事業にだけしか支出できない公益法人制度改革に備えてのことだったということを改めてご理解いただきたいと思います。お陰様をもちまして基本財産は7割程を圧縮できました。残りの分は会務検討臨時委員会の答申に従い5年を目安に公益目的支出に充てたいと思っております。現在は新法人に向けて定款の作成を定款検討臨時委員会で行ってもらっています。又、定款施行規則等諸規則の作成も行ってもらっている所です。移行認可申請書類を今年度中に備え来年3月の総会に提出する予定であります。来年度中に認可を受け新しい一般社団法人として歩み出すことを目標にしております。何かと納得のいかない点が多々ある公益法人制度改革ではありますが国が決めた事、従わなければなりませんので皆様のご協力の程お願い致します。

公益法人改革へ向けて新規2事業の終着を！

—— 平成21年度 社団法人熊本市歯科医師会通常総会 ——



3月18日（木）午後7時30分より県歯科医師会館3階市会議室にて平成21年度社団法人熊本市歯科医師会通常総会が開催された。

1. 開会 古川 猛士 常務理事

2. 議長及び副議長選出

議長 矢毛石 豊 先生

副議長 片山 晃紀 先生

3. 議事録署名人選出

斉藤 修身先生、高木 雅子先生

4. 物故会員に対する黙祷

井手 一之 先生

5. 会長挨拶 清村 正弥 会長

【要旨】

皆様こんばんは。桜の開花宣言を受けまして昨年と同じ日という事ですが、温暖化の影響ででしょうか何もかもが2週間ほど全て前倒しで動いてきて、後ろから押されるような気分が毎日しております。

本日は平成21年度熊本市歯科医師会、一番大事な総会でございます。お忙しい中、会員の皆様には会場に足をお運びになり参加して頂き、誠に有り難うございます。

本日の総会では、色々な経過報告や議案が並んでおります。更に議事が終わりました後には協議題も出してありますので、全ての報告、議

案、協議題に対しまして活発なご意見、ご討議を期待して是非本会の発展に会員の皆様のお力添えを期待申し上げます。

今年度はあと2週間ほどで終わろうとしておりますが、この1年新規2事業を立ち上げまして、それがやっと終わろうとしております。なかなか新事業が思うように進捗して行かなく執行部一同としては反省しております。あと2週間のうちに何とか形を整えまして、来るべき公益法人改革への第一歩としてこれらの事業の終着を完遂してまいりたいと思っております。

新年度を迎えますと早速、社会保険の点数改定が始まります。今月末には県社保委員会の皆様方のご尽力によりまして点数説明会等がございます。それとは別に年度を跨ぎますと市社保委員会主催による説明会も市歯会会員向けに行う予定でございます。

皆様方の一番近いところで動いております熊本市歯科医師会でございますので、不足等ございましたら、いつなんなりとも我々執行部一同にすぐにご連絡下さい。少しでも皆様のお力になれるのが我々執行部の望みです。それでは本日、熊本市歯科医師会総会をスタートしたいと思っておりますので、どうぞご協力のほどよろしくお願い致します。

6. 来賓挨拶 浦田健二 県歯会長

7. 報告

- 1) 会務報告 渡辺猛士 専務理事
- 2) 庶務報告 古川猛士 常務理事
- 3) 会計現況報告 蔵田幸一 常務理事
- 4) 監査報告 合沢康生 監事

8. 代議員会審議経過報告 三笠司代議員会議長

9. 議事

- 第1号議案 平成22年度熊本市歯科医師会事業計画案の承認を求むる件
- 第2号議案 平成22年度熊本市歯科医師会一般会計予算案の承認を求むる件
- 第3号議案 平成22年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算案の承認を求むる件
- 第4号議案 平成22年度熊本市歯科医師会退職積立金会計予算案の承認を求むる件
- 第5号議案 平成22年度熊本市歯科医師会慰労金制度会計予算案の承認を求むる件
- 第6号議案 平成22年度熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法の承認を求むる件
- 第7号議案 借入金の限度額の承認を求むる件

第1号議案から第7号議案まで全て承認可決された。

10. 協議

1) 公益法人改革への対応

公益法人改革に向けて、現在「公益目的支出計画作成」、「事業目的に合わせた会計の仕分け」、「定款の作成」などを進めています。

定款検討臨時委員会を設け、末永会計事務所と専門的な意見を取り入れて検討しています。

定款検討臨時委員会委員長 中根俊吾委員長より、経過説明。

Q、熊本市歯科医師会の公益法人化は他県その

他の団体の中では、先んじているのですか。

A、進行具合からは、他団体と比べると早いほうです。九州八市の中でも未だ対応していない所もあり、熊本県歯会よりも早く対応しています。

2) 医道委員会での医療広告に関する対応について

新入会員の先生方が開業時に、法に触れる広告を行い、近隣の先生方にご迷惑をお掛けすることが時々ありました。入会時に医道委員会よりご説明、お願い等はしてありますが、残念ながら起こっています。その際に、もう一度医道委員会の方からお願いするというのを始めていきたいと思っています。

3) 新規2事業の進捗状況について

「インターネットファックスによる会員内連絡網の構築」、「レセプトオンライン化に向けての対策」について進めています。医院ごとにいろいろありましたが、年度末の今月中には全ての医院に対応・設置が完了する予定です。オンライン化に對しまして事前に準備金をお渡ししていますので、各医院で準備をお願い致します。

Q、インターネットファックスにつきましては、本来昨年12月までに完了との話でしたが、遅れた理由は何ですか。

A、設置会社NECに一任し設置を進めていましたが、会からの連絡をご覧になられてない医院と業者間に食い違い等がありました。業者側には再三お願いしておりましたが、遅れてしまい会員の先生方には申し訳ないと思っております。



4) 植木町・城南町との合併、それに伴う支部の改編について

今回、熊本市と植木町、城南町が合併することになりまして、15名ほどの先生が熊本市へ編入されることになりました。現在所属されている歯科医師会の資産の頭割り分を移行して頂き、入会金等は戴かない様にして、一般会員として編入予定であります。

また、政令指定都市化に伴い区割りによっては、現在の支部割りを変更する可能性があります。

5) 入会金の取り扱いについて

入会金を0円にと検討していましたが、会計報告より無理であります。現在の150万円はそのままに、初期投資をおさえる意味で分割払い(12年)を検討したいと思っております。

逢坂先生より、「さすがに分割払いの12年は長すぎるのではないか。分割払いは賛成です。」とのご意見がありました。

6) その他

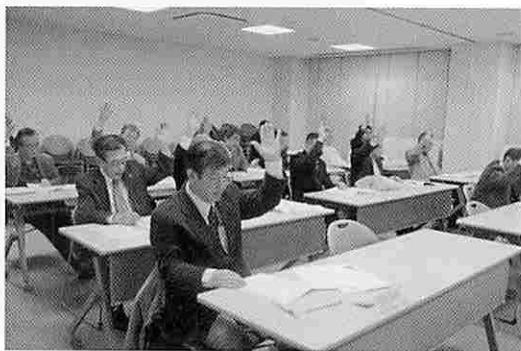
- Q、衛生士の求人に関して会員が求人を出しても希望者が来ない現状に歯科医師会として斡旋等の対応はできないか。(中央支部)

A、県歯会主催で昨年スリーピング衛生士の「リカバリー研修会」(参加者34名受講)が行われましたが、求人票を出された方は6名、実際に就職活動をされた方は2名です。面接に行っても年齢で断られるそうです。募集される医院にももう少し柔軟な対応をお願いしたいと思います。

Q、県歯会でやられた衛生士就職斡旋活動とは、どの様にされておりましたか。お金のかからない方法は無かったのですか。

A、詳しくは分かりませんが、2日間講義(現在の歯科状況、最近の歯科材料等)を行い求職票を出してもらっていたそうです。

11. 閉会 藤波好文副会長



(広報 鬼木泰久)

Melody Gardot - Some Lessons (Bedroom Sessions)

メロディちゃんのデビュー盤? 2005年に出ていました。自転車で帰宅途中、車と事故って入院中に病室に機材を運んで録音した、と書いてあります(ベッドルームのわけはこれですってこと)。メジャーデビューのアンニュイな感じも漂わせながら、ギターとピアノのシンプルなバックでの歌にひかれます。これがきっかけでメジャーに出て行ったんでしょうね。7曲入りのEP。

EPと言えば、最近いい人が出てきました。

次年度予算等を承認

平成21年度 社団法人熊本市歯科医師会代議員会



3月9日(木)午後7時30分から県歯会館3F市歯会議室にて平成21年度代議員会が開催されました。

1. 点呼 古川 猛士常務理事
2. 開会 三笥 司議長
宮本 浩幸副議長
3. 議事録署名人選出
山本 資晴先生(中央)
瀬井 知己先生(北部3)
4. 物故会員に対する黙祷
井手 一之先生(東部2)

平成21年10月25日ご逝去



5. 会長挨拶 清村 正弥会長

お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。暖かいなと思うと急に寒くなったりという時期でございます。本日は平成21年度の代議員会です。年度末をむかえて、本代議員会、そして総会での御審議をへて、初年度が終了いたします。診療報酬改定へむけての説明会もひかえております。本会も新規2事業の完了をめざして執行部一同、一生懸命動いているところです。

今日は次年度の事業計画、各種予算案等の慎重なるご審議よろしくお願いいたします。

6. 報告

- 1) 会務報告 渡辺 猛士専務理事
- 2) 庶務報告 古川 猛士常務理事
- 3) 会計現況報告 蔵田 幸一常務理事
- 4) 監査報告 與儀 実彦監事

7. 議事

- 第1号議案 平成22年度熊本市歯科医師会事業計画案の承認を求むる件
- 第2号議案 平成22年度熊本市歯科医師会一般

会計予算案の承認を求むる件

第3号議案 平成22年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算案の承認を求むる件

第4号議案 平成22年度熊本市歯科医師会退職積立金会計予算案の承認を求むる件

第5号議案 平成22年度熊本市歯科医師弔慰金制度会計予算案の承認を求むる件

第6号議案 平成22年度熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法の承認を求むる件

第7号議案 借入金の限度額の承認を求むる件
全議案 可決承認されました。



8. 協議

1. 公益法人改革への対応

(執行部) 会務検討臨時委員会よりいただいた答申にそって、一般社団法人としての申請準備をしている。事業目的にあう仕分けと定款の変更をすすめています。

監督官庁の確認を経て、新定款を来年の代議員会、総会にはかりたい。新しい定款では、代議員会の名称が使えないため、別の形で残せるよう検討中です。また各支部も現在のままの名称では使えないため、支部の会計等検討中です。

会長選は理事選となります。

(中央) 支部の統廃合が行われるのですか。

(執行部) 現在の支部割のままでなく、学区の区切りで、5ないし6の区ができてその校区割を考慮してきめることになります。

(中央) その検討はいつ始めますか。

(執行部) 政令指定都市の区割りが決定しだい始めます。

2. 医道委員会での医療広告に関する対応について

(執行部) 医道委員会において医療広告についての検討をしているが、医療広告ガイドラインが守られないケースがあるので、同委員会でも再度説明を行っています。医療広告ガイドラインに関するQ&Aなどに詳しくでていますのでぜひ、御一読ください。

3. 新規2事業の進捗状況について

(執行部) レセプトオンライン化は皆様ご存知のとおり、初期に求められていたオールインターネット環境の強制化がゆるんできています。公益法人改革とも関連して、事業費として皆様に設置していただいたネットスパートの年度内設置完了を業者に急がせているところです。

4. 植木町・城南町との合併について

(執行部) 植木・城南両町の先生方が熊本市へ編入されます。富合町との合併時と同じく、財産分の頭割りでそれを持ってきて欲しいと打診していますが両町からの返事はまだない状況です。

(中央) 何名おられますか。

(執行部) 植木町10名、城南町5名の計15名です。

(中央) 新入会員となりますか。

(執行部) そうなります。

5. 入会金の取り扱いについて

(執行部) 県歯が入会金を0にする案があるようです。本会もという話になる可能性があります。150万円を0にすると会がたちゆきません。そのため、入会時6万円、各月1万円を12年間払っていただく案や、入会時0で、各月1万円を12年半お支払いいただく案などを現在検討中です。

(会長) これは未加入者対策としてのひとつの案でもあります。

9. 閉会 稲葉 逸郎副会長

(広報 前川研二)

『解剖と基本手技を熟知して、安全スピーディーな外科処置を』

第2回 熊本市歯科医師会学術講演会

2月20日(土)熊本市歯科医師会、清村会長の開会の挨拶の後、熊本市歯科医師会学術講演会が開催されました。

まず始めに昭和薬品化工株式会社より鎮痛剤、カロナールの成人用についての説明がありました。

今まで先生方がご存知のカロナールは小児用200mgではないでしょうか？

成人用カロナール300mg、50%細粒(500mg)は間違いなく成人にも十分な鎮痛効果があるということです(特に高齢者・基礎疾患を有する患者)(インフルエンザ流行期の解熱鎮痛剤)。



講師に九州中央病院 歯科口腔外科部長 堀之内 康文先生をお招きし、『安全手際のよい外来手術のポイント』—

トラブルの予防と対処法、術後管理も含めて—と言う演題で御講演頂きました。

日常の臨床において、拔牙や膿瘍切開、歯周外科、インプラントなど外科的処置は避けては通れません。手術は患者さんの身体に直接侵襲を加える処置であり、手技的な巧拙や術後の経過の善し悪しを患者さん自身が判断できることから、医院の評判にかかわります。

上手な手術・拔牙とは解剖を熟知し、十分に直視出来る術野の確保を行うこと、術野が狭いとよく見え、その結果時間がかかりかえって、腫脹の原因となる。

剥離を大きくする事が必ずしも腫脹の原因となる訳ではなく、綺麗に剥離し綺麗に縫合して、腫脹を抑えたければドレーンを挿入すればいいとの事。

拔牙に関してはある歯科雑誌にはヘーベルのみで拔牙するのが上手な拔牙であるなど書か

れてあったが、それは大きな間違いで、拔牙の基本は鉗子拔牙であるとの事。

鉗子拔牙のポイント

- 1、つかめる歯質が残っている時は鉗子で拔牙
- 2、歯頸部にフィットする大きさ、形態の鉗子
- 3、歯軸と鉗子の軸を一致させる
- 4、頬舌的に倒して歯根膜腔を拡大する

ヘーベルのポイント

(ヘーベルは骨を支点にし、歯牙を作用点にして歯牙を動揺させる器具)

- 1、ヘーベルが引っかかる所を無ければ作る。
- 2、引っかかる所が無いまま無闇に押さない。

(上顎は上顎洞歯根迷入の原因)

拔牙の際は歯根の形態・向きをよく見てよく考えて器具を使用する。

一つの行為をいつまでも行わず駄目なら次の手を考える。

ドライソケットになった時のポイント

再搔爬しない

ネオダイン液をスポンゼルにしみ込ませて填入ケナログとキシロカインゼリーを混ぜて詰める

止血剤

ビスコスタット 止血溶剤 KOデンタル

ボスミン

サージセル

スポンゼル

骨ロウ

神経麻痺の回復までの期間

大まかに3、6、12ヶ月で変化が、1年を過ぎると回復しないケースが多い。

投薬はメチコバル、アデホスなどを投与して経過観察をおこなう。

星状神経節ブロックも有効である。

今回は日常臨床においてどこの医院でも行われる拔牙・小手術についての講演であった為、会場もほぼ満員になり、受講された先生方も熱心に聴講されておられました。

(学術 椿 誠)

第58回 熊本小児保健研究会

熊本市歯科医師会学校歯科委員会では、毎年、熊本市立小学校16～18校へ歯磨き巡回指導を行っています。小学3年生と特別支援学級（障がい児クラス）を対象としています。

最近、各小学校において特別支援学級（障がい児クラス）の児童数（学習障害児、自閉症等）が増えつつあります。

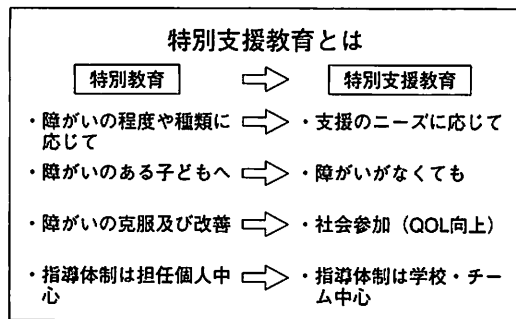
平成21年度熊本小児保健会研究会において「熊本市における特別支援教育の現状について」で報告がありましたので、記載させていただきます。

熊本市における特別支援教育の現状について

熊本市教育センター 指導主事 城門 千代

特別支援教育とは

特別支援教育とは「子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な指導や必要な支援を行うもの」である。



熊本市の取り組みは

- ①「熊本市教育方針の取り組みの方向」において「特別支援教育の推進」を掲げている。
- ②「くまもと子ども輝きプラン（熊本市の教育改革プランで、実施期間は平成22年度まで）」において「特別支援教育の充実」を掲げている。
- ③「平成20年度発達障がい等支援・特別支援教育総合推進事業（文部科学省の事業で特別支援教育を総合的に推進するために、全都道府県教育委員会に委嘱して行われるもの）」を中心にして、市全体の取り組みを推進している。
- ④地域の情報収集と情報の共有化が進む。
よりよい情報を取り入れ、活用できる。
- ⑤巡回相談員（専門家）の有効活用ができる。

合同での研修会や模擬校内委員会等の開催により、専門的な最新の情報や個別支援への具体的な助言等を各学校で活かすことができる。

- ⑥研修内容の階層化ができ、研修内容が充実する。

「基本的な理解啓発について」⇒「専門的知識について」⇒「高次の課題解決について」などのように、合同で研修を受けることにより、研修内容が発展する。また年間を通して連続したテーマを設定することにより、内容の深まりがみられる。

- ⑦長いスパンでの子どもへの支援が可能になる。
地域の幼稚園・保育園、小中学校、高等学校のネットワークを作ること、個別的教育支援計画が充実し、長期的な支援ができる。

- ⑧管理職のネットワークができる。

コーディネーターへの管理職からのサポートができる。

※巡回相談員の役割は

- ・特別支援学級・通級担当者の専門性向上に向けた助言
- ・いろいろな指導方法の指示、検査結果のアセスメント
- ・個別の指導計画、教育支援計画の作成への指導助言
- ・校内委員会の運営方法やケース会議の持ち方への助言
- ・子どもへの支援に関する助言
- ・コーディネーターのサポーター

熊本市の取り組みの現状は

◆各学校の体制整備では…

●学校には、保護者の相談窓口となり、学校内や専門機関と連絡・調整を担う特別支援教育コーディネーターがいる。

複数のコーディネーターをおく、学年ごとにサブコーディネーターをおくなど、複数でコーディネーターの役割を担ったり、教頭や教務主任など学校全体を動かすことの出来る人材をコーディネーターに指名したりする学校が多くなってきた。

●学校には、具体的な支援の方法について協議する校内委員会がある。

定期的に開催する会のほか、具体的支援策を緊急に検討する臨時的な会や、少人数の関係者が集まって開催するミニ校内委員会、保護者や療育機関や相談機関、保健福祉センターなどの関係者も参加する支援会議を開催する学校もある。

●先生方は、子どもの理解や専門的知識を得るための研修を、校内や教育委員会で行っている。

研修内容については、「特別支援とはなにか」や「障がいの理解」「発達障がいの特性について」など概念や理論的なものから、「校内支援体制づくり」や「教師の発達障がいの疑似体験」「具体的な支援方法」などよりよい学校のニーズにあったものへと変化してきた。また、「実際の授業の中での工夫や手立て」「一人ひとりの子どもが分かる授業づくり」へと、子ども一人ひとりに視点をおいた内容へと深まってきている学校もある。

●必要に応じて、特別支援学校（盲・聾・養護学校）の巡回相談員や専門家などからアドバイスを受けている。

◆市全体の体制整備としては…

●拠点校を1圏・20校指定し、市全体を9地域、17ブロックに分け、各地域の拠点として取り組みを地域に広げている。

●地域会議やブロック会の開催を通して、専門家チームや特別支援学校の巡回相談員を活用している。

●地域やブロックごとに、担当の巡回相談員を配置している。

これらのことにより、地域における総合的な支援体制の構築（ネットワークづくり）を図っている。

※地域のネットワークを構築する利点は

1. 各学校での特別支援体制が充実する。

それぞれの学校の支援体制状況を参考にすることが、各学校の積極的な取り組みにつながる。

2. 学校間の温度差が解消する。

それぞれの学校で支援の充実が図られる。

3. コーディネーターの孤立感が解消できる。

◆理解啓発のための取り組みとして

●教職員向け資料

「学習障害(LD)児の理解推進のために」

「ADHD、高次能自閉症の理解と支援のために」

●保護者向けリーフレット

「LD、ADHD、高次能自閉症等の理解と支援のために」

●保護者向け研修会・講演会の開催（校内や教育センターにて）

今後の取り組みとして

●「推進体制点検シート」の活用等による、各園・学校の支援体制の充実

●個別の指導計画・教育支援計画の作成と活用

●保護者へのより一層の理解啓発

●地域のネットワークのさらなる充実

おわりに

～支援において大切にしていること～

●周囲の環境を整えて、支援を適切にすれば、子どもの困り感は軽減される。

●そのために、周囲の大人が、子どもの困り感に気づくことが大切である。

●気づくことは、支援につながる。

「気づいて、子どもを変える」ためではなく、「気づいて周囲の大人の対応が変わる」ために。「子どもを正しく理解し、誤った対応をしない」ために。

(学校歯科 井手裕二)

医療連携セミナー開催

熊本有病者歯科医療研究会



2月18日（木）午後7時30分より国立病院機構熊本医療センター2階地域医療研修センターにて熊本有病者歯科医療研究会が行われた。

今回は国立病院機構熊本医療センター心臓血管外科医長 毛井純一先生を講師に迎え、「心臓疾患と手術適応」の演題で座長の伊藤明彦先生進行の元に進められた。

狭心症や心筋梗塞と言った虚血性心疾患と呼ばれるものは、心臓を栄養する冠動脈の内壁にコレステロール等が沈着し、狭窄する事によって起こる。心筋梗塞の場合は血栓によって完全に閉塞し、血流が遮断されることにより心筋が壊死し、命にかかわってくる。

症状としては次の様な違いがある。

狭心症

- ・階段を上がる時や、急いで歩いた時などに数分間の胸の痛みが起こる
- ・痛みで目がさめたり、夜明けがたトイレに立った時や洗面の時に胸の痛みが起こる

心筋梗塞

- ・安静時とか身体を動かしている時とかに関係なく突然、前胸部に激しい痛みが起こり、15分以上続く
- ・持続性の胸痛と共に不安感、動悸、息切れ、冷や汗、めまい、脱力感を伴う

狭窄した血管を広げるために一般的になって来たのが通称「風船療法」と呼ばれる冠動脈形成術（PTCA）で、動脈硬化で狭窄した冠動脈を広げる手術で、先端に風船（バルーン）のついたカテーテルを使って、冠動脈の狭窄部でこの風船をふくらませ、動脈を広げる方法である。風船で十分に広がらない場合は、特殊な合金による金属を網の目状にした筒（ステント）を血管の内部に入れ、内側から補強する方法がある。

ただ、この方法が全ての症例に適応できる訳ではなく、冠動脈バイパス術の方が予後も含めて優位な場合もあり、使い分けが必要であるとの事であった。

毛井先生は、この冠動脈バイパス術の専門家であり、実際の手術の様子や造影剤を用いて術



前に比べて明らかに血流が回復する様子など、我々歯科医師が日頃決して目にする事のない映像が次々と出てきて、迫力満点であつという間に時間が過ぎる感じだった。

また、引き続き歯科との関連で感染性心内膜炎の代表的な症状である心臓弁膜症について話された。心臓にはいくつかの弁があり、それによって血液の逆流を防いでいる。そこに細菌が定着すると、弁の肥厚や石灰化を引き起こし、弁が閉鎖不全を起こすことによって血液の逆流が起きる。そのため、使用不能になった弁に対して人工弁あるいは生体弁（ブタやウシの物を使用）による置換手術が行われる。

これも、実際の手術映像を見せていただき、最先端の医療に触れる事が出来た。

以前から歯科処置（特に抜歯等の外科処置）と心内膜炎との関連は言われているが、今回、その結果どうなるかを実際の映像で見せていただき、我々が処置をする段階で配慮しておけば、患者さんにこの様な苦痛を与える事が減る事をあらためて実感した。

今回の講演も含めて、この有病者歯科医療研究会は隣接医学の最先端の情報を得る事が出来る貴重な機会となるので、今後とも多くの会員の参加を希望する。

（医療管理 宮本格尚）

毎日の診療の中にも気づかいを

— 熊本市エイズ総合対策推進会議 —

3月16日（火）熊本市エイズ総合対策推進会議に参加してまいりましたので、そのご報告を致します。

熊本県において、昨年HIV患者（症状がまだ出ていない患者）もエイズ患者（症状の出ている患者）も、いまだに増加しています。

ただしそのほとんどは男性の同性愛の者です。原因の多くは不潔なアナルセックスにあるようです。

しかし、エイズが日本よりもかなり多い地域では徐々に女性や母子感染の割合も増えてきていますので、今のうちに対策しないと危険です。

現在熊本市では保健所で他人にプライバシーを侵害されずに無料でエイズ検査が受けられますので、少しでも心配な方は早期の検査をおすすめします。一般的な病気と同じくエイズも早期発見、早期治療が命を救い、二次感染も防ぎ

ます。

ただ、アメリカではすでに、「エイズを疑われる疾患を見逃さないようにしましょう」という考えから、「出来るだけ早く診断できるようにしましょう」に意識が変わったそうです。

また誰に検査をするべきか？もエイズを疑われる人の早期検査から「医療機関を受診した13才から64才全員のルチン検査」に基準を変更したそうです。

私達歯科医師は毎日の診療で一般の方よりもHIV感染者に遭遇する確率が高いと思われます。

毎日の診療の中で、自分やスタッフ、そして患者様同士の安全により一層の気づかいをしてまいりましょう！

（学校歯科 前田明浩）

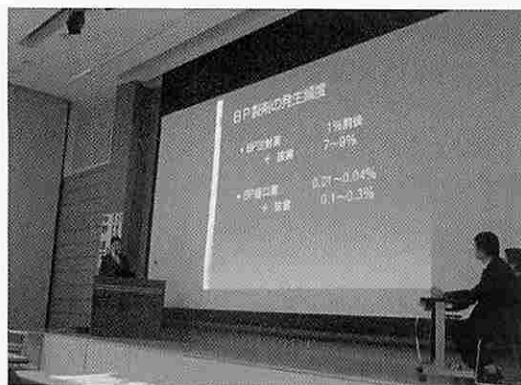
今回も実り多く

平成21年度 第2回開放型病院連絡会

平成21年度第2回開放型病院連絡会は、2月20日(土)18時30分より、国立病院機構熊本医療センター2F研修センターにて開催されました。



開始にあたり、熊本医療センター院長池井聡先生が新病院での診療状況、旧病院の撤去予定とそれに伴うヘリポート、駐車場の整備などを報告されました。続いて、開放型病院運営協議会委員の熊本市医師会副会長加来裕先生がご挨拶されました。加来先生は、開放型病院の意義の再確認と病診連携がさらに進行していくことを希望されました。次に全体会議に移り、熊本市医師会理事の家村昭日郎先生と副院長の河野文夫先生が進行を担当し、症例呈示として、藤本和輝循環器内科医長による「128列CTによる冠動脈CTについて」の講演がありました。そして、中島健歯科・口腔外科医長による「ビス



フォスフォネート(BP)製剤による顎骨壊死について」の講演がありました。講演の中でこの顎骨壊死の出現率は、抗がん剤の一つであるゾメタが高いということでした。また、



BP製剤使用中は口腔ケアが重要であると話されました。続いて、片淵茂地域連携医療室長から、「共同指導手順について」と「インターネットで行う次世代型の地域医療連携システム」の紹介がありました。最後に、熊本市歯科医師会清村正弥会長より、開放型病院と歯科医師会との関係の挨拶があり、全体会議をまとめていただきました。

その後、特別講演に入り、厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長中野滋文先生より「我が国の医療提供体制について」の演題で講演されました。次年度の診療報酬改正を含め現在問題になっている救急医療、周産期医療、医師の研修・教育、医師の偏在など多岐にわたり、現在行われる予定の施策について説明がありました。広範な内容にかかわらず非常に丁寧にわかりやすいお話でした。またフロアの先生方の質問に対しても率直に答えていただきました。前回に引き続き多くの参加者があり大変実りの多い連絡会でした。



(医療管理 高橋 禎)

遅いあなたが主役です

— 第38回天草パールラインマラソン大会 —

3月14日（日）午前8時より天草市大矢野にて第38回天草パールラインマラソンが開催された。集合場所に7時に到着した時点では肌寒い曇り空だったが、次第に晴れ間が出るとともに気温も上昇し暑く感じるくらいの良天になった。北は北海道から南は鹿児島まで総勢4300名もの参加者が集まり、広場には多くのブースが設置され、熊本市保健医療専門団体連合会のブースでは、医師会をはじめ15の団体の代表者が出務した。熊本市歯科医師会地域保健委員会からは椿委員と有働が出務し、役割分担によりスタートまでの時間、参加者のアンケート記載、身長、体重、体温、体脂肪、血圧等の健康測定が行われた。

開会式では、上天草市長、大会会長の挨拶のあと最高齢者ランナーの表彰があり、91歳の男性ランナーと86歳の女性ランナーが表彰された。

今回特別ゲストとして熊本出身元マラソンランナーの松野明美さんが招待され、「10キロを皆様と走ります。一緒に頑張り気持ちよい汗を流しましょう」と挨拶があった。

続いて地元中学生による和太鼓の演奏を観覧した後、全員参加のエアロビで参加者が体をほぐし暖めていた。競技は4.2キロ、10キロ、20キロをグループ・年齢別に分け、なかには仮装したグループや家族での参加者も多数見られ和気あいあいの雰囲気の中でスタートした。

もともと健康マラソンの先駆けとして「遅いあなたが主役です」のキャッチフレーズのもと昭和48年より開催。当時の参加者は271名でちょうど天草五橋が完成したときでもあった。そんな歴史のある大会にいつかランナーとして参加したい。



（地域保健 有働秀一）

『年末年始、ゴールデンウィークの紹介患者の充実を』

医療法人伊東会伊東歯科口腔病院との開放型連絡協議会

及び、歯科救急医療協議会

3月19日（金）、19時30分より、熊本県歯科医師会館3階会議室にて第1回開放型連絡協議会が行われた。熊本市歯科医師会より藤波好文副会長、宮本格尚理事、関喜英医療管理副委員長、伊東歯科口腔病院より伊東隆利病院長、伊東隆三副病院長、國芳秀晴診療部長、伊藤三樹男事務長が出席した。



伊東隆利病院長から、平成21年5月から平成22年2月までの連携歯科医師から紹介された外来、入院患者の臨床的統計と開放型病床の利用状況、共同診療の現況について報告された。統計結果の概要は以下の通りである。

紹介があった先生の地区別分布は熊本市が患者数合計393人で各支部からまんべんなく紹介がされている。熊本市外からは患者数合計369人で、菊池郡市、鹿本郡市、玉名郡市の順が多い。県外歯科医や医科病院、医科クリニックからの紹介を含めて、合計961人の患者の紹介があった。紹介患者の性別は男性が42%、女性が58%で、全年齢層にわたっているが、20代が21%と最も多い。紹介患者の疾患は歯牙疾患・歯性病巣感染症が53.1%と最も多く、次に高齢者及び全身状態に問題がある有病者が13.8%、そして、顎変形症・先天性奇形・矯正10.9%と続いている。

紹介率（月の初診患者数のうち、歯科からの紹介患者数+病院からの往診依頼患者数）・逆

紹介率（逆紹介数を救急患者数で割った値）については、年間で紹介率が21.3%、逆紹介率が58%となっている。紹介率は年間で20%以上であること、連続3ヶ月20%を下回らないことが地域歯科診療支援病院の要件として定められている。救急当番医である年末年始に紹介なしに直接伊東歯科口腔病院を訪れる患者数が増える12月、1月は、連続して20%を下回っており、要件をクリアするためには11月、2月の紹介率が必ず20%を超えなければならないという厳しさがある。ゴールデンウィークも同じ状況で20%を下回ってしまう。逆紹介は、救急で訪れた患者を応急処置後、患者の住む地域の先生に紹介し機能の分担を図っている。

入院患者月別の統計では、入院患者数と入院延べ日数は7、8月が多く、11月が最も少なかった。入院患者は女性が66%、男性が34%で、埋伏歯や過剰歯の抜歯が多く、年齢層は20代が最も多い。入院患者の地域別分布は熊本市が52.6%で最も多く、次いで菊池郡市の13.2%となっている。入院患者紹介先は歯科からの紹介が38%、医科からの紹介が5%、伊東歯科口腔病院外来からの入院が57%となっている。紹介の入院患者の疾患は歯牙疾患と歯性感染症40.3%で最も多く、次にインプラント治療17%、顎変形症と先天性奇形16.6%と多い。



開放型病床利用と共同診療については紹介の入院患者数が348人、連携歯科医からの紹介患者数が206人、共同診療を行った先生の数が延べ36人、共同診療件数が49件となっている。共同診療を行った先生数は少ないが、共同診療のメリットとして、患者との信頼関係が強まること、1回につき350点が算定できることなどがある。連携歯科医側からは患者に共同診療の点数請求をしにくい面があるが、患者の入院時に伊東歯科口腔病院から説明をし、これまでのところ患者からの理解は得られているとのことである。

紹介された患者の治療の範囲は、紹介状の内容から判断し、依頼された範囲外の治療については紹介先の先生のもとで行うよう患者を戻すことで信頼関係を損なわないよう注意しているとのことである。

続いて、歯科救急医療協議会が行われた。現在、県内の休日歯科診療は各地域の歯科医師会により、輪番制で休日の当番歯科医師による救急患者の対応がなされている。平成20年度の日曜祝祭日の昼間診療実績はゴールデンウィークのある5月が最も多く172名、次に1月の80名となっている。平成21年度はやはり5月の179名が最も多く、シルバーウィークのあった9月の152名が次に多かった。休日夜間の診療実績

は、平成20年度は5月に34名、9月に15名と多く、平成21年度は5月に27名、9月に25名の順に多かった。

盆休、年末年始等に、紹介なしの救急患者が伊東歯科口腔病院に集中する傾向があり、前述の地域歯科診療支援病院の要件（紹介率20%以上）に反することになりかねない状況である。伊東歯科口腔病院としては、この時期だけでも、例えば歯科医師会からの紹介という形式で救急患者を扱うことが出来ないものか、また、他にいい案がないか、歯科医師会として検討してほしい、との要望があった。（紹介率20%を維持するために）患者を紹介する場合は必ず紹介状をつけるということを習慣とすべきであろう。

また、歯科救急患者が救急車で運ばれる場合、県指定の救急歯科医院・病院がないために、救急隊員がどこに連れて行くべきか迷うことが多いそうである。今後は、県が救急指定のための要件を整備することや、歯科医師会による救急指定を行うなどの対応が必要となるのではないだろうか、との意見が述べられた。

現在は、休日や祝日に診療している医院や、平日も夜遅くまで診療している医院も増えてきたので、歯科救急に対する協力医の要請も再度行っていきたい。

（医療管理 関 喜英）

Highway Rider - Brad Mehldau

メルドーの新作、2枚組。2002年の「ラゴ」と同じジョン・ブライオン・プロデュース。全曲メルドーのペンでフランス印象派風であったりするストリングスも加わったトリオの演奏。サクセスにジョシュア・レッドマンが参加しています。ストリングスも聞かせますが、レッドマンのマイナーな吹きぶりが琴線をくすぐります。でも、メルドーはやっぱりトリオで聴きたいのが本音でして、もう少し聞きこんでから星をつけましょう。

去年のNorth Sea Jazz Fesの海賊版でメルドー、C. ヘイデン、J. ロッシーというトリオ盤を見つけました。全7曲、ライブということで1曲が10分超、途中でマイクがずれたりノイズがけっこう入りますが演奏は星5つです。ヘイデンに合わせてなのか、しっかり4ビートでプレイしています。ジャレットのスタンダーズにはちょっと負けるかもですが。もし見つけたら即買いでしょうね。

第3回 口腔ケア研究会



3月31日（木）午後7時30分より国立病院機構熊本医療センターにて第3回口腔ケアの研修会が開催されました。



今回は、まず、最初に「摂食嚥下の基礎と口腔ケア（歯の役割、義歯の役目、誤嚥性肺炎）」というテーマで西田歯科医院院長の西田宗剛先生が講演されました。

嚥下と呼吸の関係や嚥下のメカニズム、摂食嚥下障害についての生理的、解剖学のお話しに始まり、実際に誤嚥している状態の症例を嚥下ビデオX線透視検査（VF）画像や嚥下ビデオ内視鏡検査（VE）画像を観ながら分かり易く解説して頂きました。

また、先生の指示で実際、せんべいを食べたり、お茶を飲んだりして咀嚼された食べ物がままとまりながら咽頭に送られる様子や、その時の舌の位置はどのようになるかなど摂食嚥下の様

子を自分自身で確認したりしました。

そして、今回の診療報酬改定で導入された摂食機能療法に伴う「舌摂食補助床（PAP）、つまり、例えば口腔癌術後で発音や嚥下機能障害および舌の運動障害に対して用いられる装置についても話されました。

それから誤飲や誤嚥予防の為、嚥下訓練についての話があり、嚥下のリハビリにおいて咬み合わせが重要な一因であり、誤嚥性肺炎の予防や口腔衛生の保持の為に歯科医師を中心とした他職種のチームアプローチが必要不可欠であるとの事でした。最後に先生は他職種との共通認識を持った上で歯科の重要性を広めることが重要であると説明されました。



次に「口腔ケアとコミュニケーション」というテーマで青磁野リハビリテーション病院歯科衛生士の渡邊由紀先生が講演されました。

この病院は回復期病院であり、現在3名の歯科衛生士がフル回転で入院患者の口腔ケアの指導に当たっているとのことでしたが、まず、先生は口腔ケアをする上で、いきなり人前で口の中を診られるのが抵抗あるような入院患者に対しては、歯科とは直接関係のない世間話などからコミュニケーションを図り、心を解きほぐしてから徐々に信頼関係を構築することが大切であるということを説明されました。

講演終了後、質疑応答があり、特に熊本市歯科医師会会長の清村正弥先生からは訪問において現場で直面している口腔ケアや訪問診療に関する悩みや相談など活発な意見交換が交わされました。

今回、2名の演者には、それぞれ「歯科医師」、「歯科衛生士」の立場から日々臨床で工夫して行っていることを熱く語って頂き、これからの診療に役立つ有意義な講演内容でした。

これから超高齢社会を迎えるにあたって、人が生きて行く上で必要不可欠な栄養や経口摂取の維持を目的として摂食嚥下や口腔ケアの需要は今後ますます重要視されてくると考えられます。

他の医療従事者へ摂食嚥下や口腔ケアの意識を向上させるために、もっとあらゆる手段を使ってアピールする必要性があると思われました。

(医療管理 二宮健郎)

M/D マイルス・デューイ・デビスⅢ世研究 菊地成孔+大谷能生 (エスクワイア・パブリッシング)

ちょうど去年の暮れころレコードを入れてる押入れの整理をしながら、並べなおすついでにもう一度マイルスをクロノジカルに聞いてみよう、と思いついて、最初期のバードとのサボイ/ダイアル盤から聞き始めました。まあ、へったくそのベットの、パーカーの宙を飛び回るアドリブ。コカインまみれでも(だからこそ?)これだけブレイが出来る、このころはパーカーの金づる。あのスピード感に打ちのめされていたらしい。プレステッチでの有名なマラソンセッションとかモンクに怒った(怒らせた)バグズグループとか。ああなつかしい、黄金の五重奏団。ウィズ・コルトレーンとしてまとめられたCBSの初期のもの、ギルとのセッション、第2期黄金の五重奏団。このあたりで正規盤、ブーツ、箱モノ取り揃えてすでに100枚は超えてしまいます。Four&Moreの火を噴くようなブレイ。ブラグドニッケル。私の愛聴盤1969.でようやくビッチェズ・ブリュー。70年代栗村先生が残した名言「ビッチェズ・ブリューでモダンジャズは終わった」(モダンジャズの歴史)

ちょうどこのあたりで菊地君のこの本に巡り合いました。彼のブレイは(アルバムでしか知りませんが)あまり好みではないのですが、書いたやつはけっこうおもしろいので(東京大学のアルバートアイラーなどなど)一連の講義録、最近文庫にどんどんなっているのでこれも早くなくてももらいたいのですけど(何しろ4935円は高いよ)それはともかく、マイルスの音をクロノジカルに聴きながら解説していくという思っただけで気の遠くなる作業を東大でやった、その記録です。

ポップスの世界と比べながら時代も考慮していくというかなりマニアックなアプローチをしています。それでも厚さ7センチ、枕になりそうな分量を一气読みさせる筆力は感心。あまたあるマイルス本に加わる資格十分。ああもっと語りたいけどスペースが足りない。アマゾンで検索したら、今や品切れで、プレミア付いているようです(5月末で12000円だって!)乞う文庫化

ネットスパート説明会&点数改正社保説明会



4月22日(木)午後7時半より熊本県歯科医師会館4Fホールにて「ネットスパート説明会&点数改正社保説明会」が開催されました。

まず清村正弥市歯会長からの挨拶の後、NECネクサスよりインターネットFAX(ネットスパート)についての説明がありました。

続いて午後8時より県社保委員会の先生方より平成22年度改定について以下の順で説明がありました。

- ①誤りの無い請求と直近の審査状況について(勇励県歯社保理事)
- ②総論、歯管、義管について(宇治寿隆県歯社保委員)
- ③補足、混合歯列期の検査スケーリング、成人SPTについて(中嶋敬介県歯副会長)



その後「質疑応答」を渡辺洋市歯社保理事が受け、最近の個別指導時の注意点を交えながら正しい歯周治療の流れの確認がなされました。

最後に、稲葉逸郎市歯副会長の閉会の挨拶をもって今回の社保説明会は終了しました。



参加者も300名近くで非常に多く、大変実りの多い説明会であったと思われます。

現在はきびしい審査状況、指導状況の中ではありますが、我々保険医は正しい保険ルールを理解し、且つ、患者さんとのより良い関係を維持しながら、自ら生き抜いていくために頑張っていかなければなりません。日々更新される社保情報には今後共ご注意ください。

(社保 栗原健一)





「健口」が健康をつくる

前田 明浩

全身の健康には「健口」が大切な役割を担っています。

「食育」という言葉もこの会議に参加させて頂くようになってからよく耳にします。しかし、歯科医師の立場から考えると、食の入り口である口が健康な状態でないと、その次の「育」までいけないと考えます。

口には大きく分けて、

1. 食べる機能
2. 話す機能
3. 息をする機能
4. 見た目の機能
5. 全身のバランスをとる機能

があります。

「健口」がこれらにどう関わっているのかを1つずつ簡単に見ていきましょう。

1. 食べる機能

私たちが現在、力を入れている訪問診療（歯科の往診）でも食べる機能の低下で寿命が短くなったり、覇気が無くなって行きます。

また、胃ろうの患者さんは、たとえ毎日の必要カロリーを摂取していても「口から食べる楽しみ」を喪失して元気が無くなってきます。「口から美味しく食べる」ことの全身の健康に与える影響の大きさがわかります。

また、「歯の無い老人の方が認知症にかか

りやすい」ことから、咬合が成績にも影響することも示唆されています。

2. 話す機能

歯がないとうまく話せません。合わない入れ歯でもうまく話せません。うまく話せないと他人に上手く意思の疎通が図れません。本人には大きなストレスがかかり教育効果にも影響があると思います。

3. 息をする機能

口からは息をしています。そこで口が不潔だと一緒にばい菌も入ります。お口の中を清潔にする「口腔ケア」をすると、老人の肺炎が減り死亡率が確実に下がります。

昨年から新型インフルエンザが流行りましたが、口腔ケアはインフルエンザ予防にもつながります。

4. 見た目の機能

前歯が欠けていたりして見た目が悪いとどうしても消極的になります。

5. 全身のバランスをとる機能

例えば咬み合わせの無い老人は転倒しやすくなります。逆に考えれば、よい咬合が全身のバランスをとり、よい姿勢や集中力も保つことにつながります。

今後も健口、食育を通じて子どもたちの健康な成長の手助けをしていきたいと思っています。



顎骨壊死を誘発するビスフォスフォネート製剤について

熊本大学大学院生命科学研究部 総合医薬科学部門 片山建一・太田和俊
感覚・運動医学講座 顎口腔病態学分野

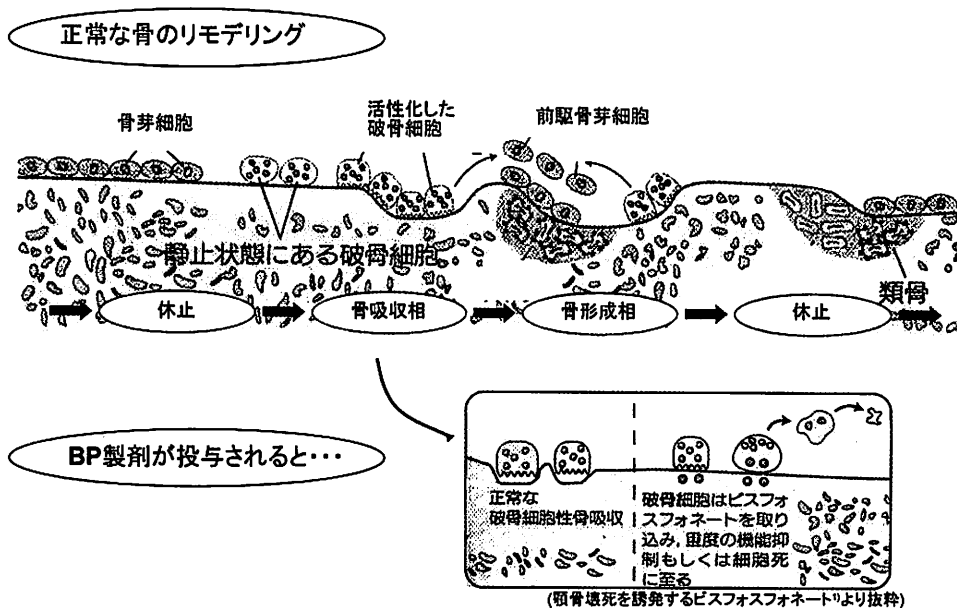
はじめに

ビスフォスフォネート製剤（以下BP）は骨粗鬆症による病的骨折などの予防や治療、悪性腫瘍における高カルシウム血症や溶骨性骨転移に対し有益な薬剤です。一方で歯科領域において、2003年にビスフォスフォネート関連顎骨壊死（以下BRONJ）の報告が発表されて以来、各施設においてBRONJの報告は年々増加しつつあります。実際に臨床の場でBP投与患者に遭遇する機会も増加し、その対応に困惑する先生方も多いかと思えます。しかし、治療ガイドラインは確立されつつあるものの、未だ統一した見解は得られていないのが現状です。その為、治療方針を決定する上では、BP処方医と歯科医の連携が重要です。その連携の為に我々歯科医はBPやBRONJに関する知識が必要であり、常に新しい情報に留意する必要があると思いま

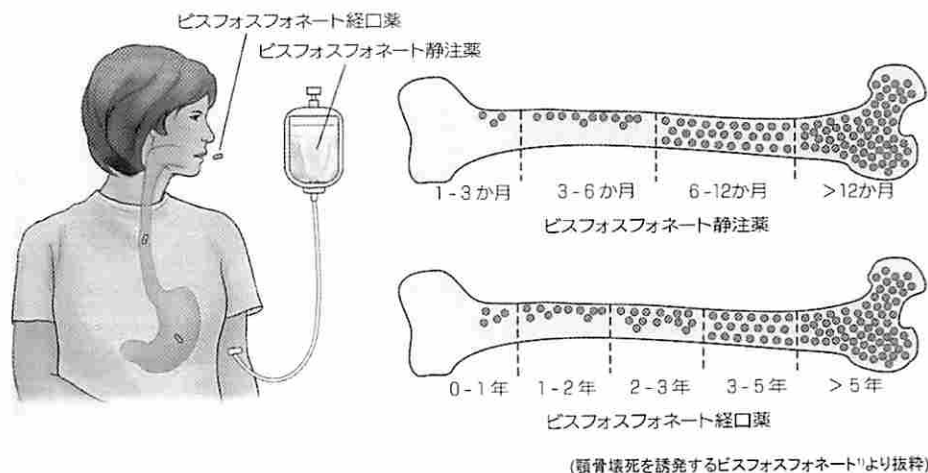
す。今回はその基礎となるべきBPやBRONJの機序と歯科治療について記述してみます。先生方の参考になれば幸いです。

1. 骨のリモデリング

骨組織内部には骨吸収に関与する破骨細胞と骨形成に関与する骨芽細胞が存在しています。骨は約200日かけて新しく生まれ変わりながら、一生涯骨の吸収と形成を繰り返しています。これを骨のリモデリングといいます（図1）。骨吸収と骨形成の絶妙なバランスが崩れると骨粗鬆症などの骨病変が引き起こされます。顎骨においても骨のリモデリングが常に行われ、その速度は他部位の骨より高く（歯槽頂部：下顎管付近の下顎骨：脛骨＝10：5：1）、このことがBPの影響が顎骨に起こりやすい最大の理由となっています。



(図1) 骨のリモデリング



(図2) BP製剤の骨基質への累積的蓄積 (BP注射薬>BP経口薬)

2. ビスフォスフォネート (Bisphosphonate: BP)

BPとは石灰化抑制作用を有する生体内物質であるピロリン酸のP-O-P構造を、安定なP-C-P構造に変えた物質の総称です。この構造により、BPは損傷した骨のハイドロキシアパタイトに親和性を示し、血中に移行したBPのほとんどが骨に移行します。また、骨に移行したBPは代謝されにくく、反復投与により骨基質に蓄積されていくのが特徴です (図2)。

生物学的作用としては破骨細胞をターゲットとし、骨吸収を抑制することにより骨代謝や骨

新生を抑制します (図1)。そのため骨の痛みを抑えたり、骨破壊で生じる高Ca血症を是正する作用があり、骨関連事象 (骨痛や病的骨折) の予防や癌治療により誘発される骨量減少の改善などに臨床で応用されています。

現在日本国内で認可発売されているBPには、骨粗鬆症に対する経口薬と溶骨性骨腫瘍 (多発性骨髄腫、乳癌、前立腺癌などの骨転移) に対する注射薬があり、その骨吸収抑制作用は薬剤により異なります (表1)。

(表1) 国内で販売されているBP系薬剤一覧

	製品名 (一般名)	適応症	製造販売	骨吸収抑制
注射用製剤	アレディア (パミドロン酸2Na)	悪性腫瘍による高Ca血症 乳癌の溶骨性骨転移	ノバルティスファーマ	100~1,000
	オンクラスト、テイロック (アレンドロン酸2Na)	悪性腫瘍による高Ca血症	万有製薬 帝人ファーマ	100~1,000
	ビスフォナール (インカドロン酸2Na)	悪性腫瘍による高Ca血症	アステラス製薬	—
	ゾメタ (ゾレドロン酸水和物)	悪性腫瘍による高Ca血症 多発性骨髄腫/固形癌骨転移	ノバルティスファーマ	100,000
経口製剤	ダイドロネル (エチドロン酸2Na)	骨粗鬆症、骨ページェット病	大日本住友製薬	1
	フォサマック、ボナロン (アレンドロン酸Na水和物)	骨粗鬆症	万有製薬 帝人ファーマ 科研製薬	1000
	アクトネル、ベネット (リセドロン酸2Na水和物)	骨粗鬆症、骨ページェット病	味の素(エーザイ) 武田薬品工業(ワイス)	1,000~10,000
	ボノテオ、リカルボン (ミノドロン酸)	骨粗鬆症	アステラス製薬 小野薬品	—

3. ビスフォスフォネート関連骨壊死

(BRONJ : bisphosphonate related osteonecrosis of jaws)

3-1 米国口腔顎顔面外科学会の診断基準

- ①BP による治療を現在行っているか、または過去に行っていた。
- ②顎顔面領域に露出壊死骨が認められ、8週間以上持続している。
- ③顎骨の放射線治療歴がない。

3-2 頻度

BP注射薬 : 0.8~12%

(米国口腔顎顔面外科学会)

BP経口薬 : 0.01~0.04%

(近年4.3%との報告もあり、年々その頻度は高くなっています。
また、欧米人に比べて日本人ではBRONJのリスクが高いとの報告もあります)

3-3 臨床症状

疼痛と感染を伴う持続性の骨露出と骨壊死、顎が重い感じや痺れ、歯肉腫脹、排膿、歯の動揺などが一般的な症状ですが、疼痛を伴わず、無症状のこともあります。また、パノラマX線写真では分離した腐骨がみられたり、歯槽骨の骨硬化、歯槽硬線の硬化、歯根膜腔の拡大が見られることがあります。抜歯や歯周外科治療、インプラント治療などを契機として発症することが多いとされていますが、BP注射薬患者の場合の約25%で自然発生的に発症するとの報告もあります。

3-4 発生機序

病態生理については未だ詳細は不明ですが、以下のような説が有力です。

①骨代謝回転抑制作用

BPの投与により骨代謝回転が過度に抑制され、顎骨において咀嚼による微小骨折が蓄積し、骨細胞が壊死、アポトーシスに至るという説

②血管新生抑制作用

BPの抗血管新生作用が顎骨壊死の病態に関与しているという説

4. ビスフォスフォネートと歯科治療

4-1 BP治療開始前の留意点

BP治療を行う予定、もしくは行っている患者に対し共通して言えるのは、まずBPとBRONJについて正しい理解を得られるように説明を行うことだと思います。発症頻度やリスク因子、外科処置が困難になる可能性、BRONJ発症した際の対応などを説明し、さらに現時点ではBPに関して不明な点が多いこと、たとえBPを中断しても完全にリスクがなくなるものではないこと、口腔内の管理によりそのリスクを減少させる可能性があること、などを追加して説明して頂くとさらに良いと思います。

口腔衛生を良好に保つためには、患者教育を十分に行い、感染源となりうる歯科治療(抜歯・歯周治療・根管治療・義歯調整)は前もって行っておくことが重要です。可能であれば、抜歯などの骨露出が起こるような処置の際は、担当医と相談し、BP投与開始の延長を依頼する方が良いでしょう。治療前には、一般的な口腔内診査に加えてエックス線写真による画像診査を行い、骨の変化が経過観察できるようにすることも大切です。

4-2 BP治療中の留意点

【BP注射薬の場合】

BP注射薬が投与されている場合は悪性腫瘍患者の可能性が高く、骨組織へのBP蓄積も高濃度であることが予想されます。また、放射線や抗癌剤の治療により全身状態の悪化も懸念され、骨壊死発症のハイリスク患者と考え対処します。抜歯などの外科的侵襲はできるだけ避け、患者のQOLを考慮した非侵襲的な処置にとどめます。短期間の休薬は意味がなく、腫瘍治療医と歯科医の密接な情報交換が極めて重要となります。歯科医として

は、癌患者の骨転移を制御するという恩恵を患者が継続的に受けられるように疼痛の緩和、除去に努めることが大切です。

【BP経口薬の場合】

BRONJ発生を防ぐ最善の方法は、定期的な歯科健診などを含めた口腔ケアを行い、口腔衛生状態を良好に保つことであることを患者に十分説明します。骨への直接的侵襲や感染リスクのない処置であれば通法通りに歯科治療が可能であり、むしろ歯周治療、歯内治療、歯冠修復や補綴処置などの、リスクを排除する治療は積極的に行うべきだと考えられます。一方、BP経口薬内服患者で外科処置が必要になった場合は、以下の点に注意して治療を行わなければなりません。

＜米国口腔顎顔面外科学会からの提言＞

- ①投与期間が3年未満で他に危険因子（表2）がない場合
→予定された侵襲的な歯科処置の延期・中止やBP経口薬の投与中止の必要はないとされています。
- ②投与期間が3年未満でステロイド投与など他に危険因子がある場合、あるいは投与期間が3年以上の場合

（表2） BRONJ発生の危険因子

-
- ・癌患者（放射線・抗癌剤治療）
 - ・高齢者（66歳以上）
 - ・ステロイド療法
 - ・糖尿病
 - ・喫煙、飲酒
 - ・口腔衛生状態の不良
 - ・骨隆起や骨棘 など
-

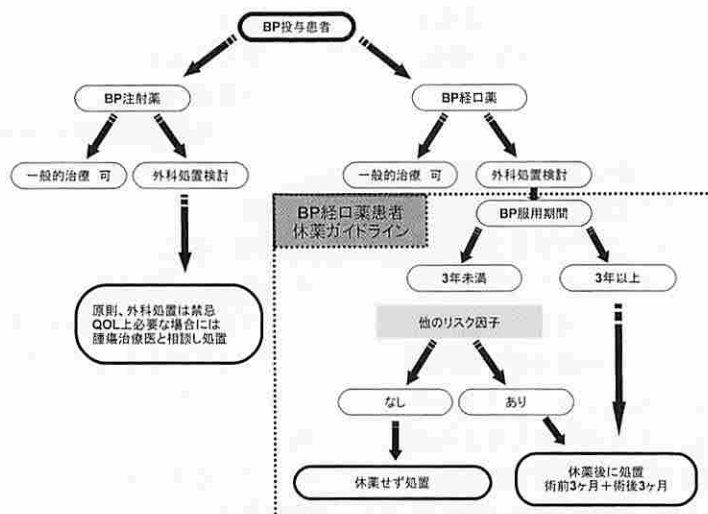
→患者の全身状態からBP経口薬を投与中止しても差し支えないのであれば、歯科処置前の少なくとも3ヶ月間の休薬を行い、処置部位の骨が治癒傾向を認めるまでBP経口薬を（少なくとも3ヶ月）再開すべきではないとしています。

BP経口薬とインプラント治療に関しては、現時点での見解は統一されておらず、インプラント治療後にBRONJを発症した報告もあれば、そうでなかった報告もあります。インプラント体埋入には骨への侵襲が加わるため、現時点では少なくともBP注射薬投与中のハイリスク患者に対しては行うべきではなく、内服患者に行うとしても十分な説明と、厳重な経過観察が必要と考えられます。また、広範囲にわたるインプラント治療や骨再生誘導が必要な場合は、BRONJの発生リスクが高くなると考えられています。

＜当科における対応＞

上述の提言には明確なエビデンスがないのが現状ですが、日本口腔外科学会においても米国口腔顎顔面外科学会の提言を推奨しています。当科でもそれに準じて処置を行い、さらに術前抗菌薬の投与や抜歯窩の搔爬を必要最小限にすること、創を一次閉鎖し骨の露出を防ぐなど、症例によって適宜対応しています。また、BP（注射薬・経口薬）投与予定の患者、投与中もしくは治療経験のある患者、それぞれにおける同意書を準備し、十分説明した後、治療を開始しています。治療の流れを図3に示しますのでご参照ください。

骨のリモデリングは血液や尿中に見られる骨代謝回転／再生に関する多くの代用マーカーを通して評価することができるため、骨代謝マーカーである血清CTXや尿中NTXを用いてBP経口薬の休薬前後で評価を行うこともあります。当科では、今後これらの骨代謝マーカーが顎骨壊死のリスクを評価できる一つの指標になるかについて検討を行っていく予定です。



(図3) BP投与患者の治療の流れ

5. BRONJの治療

まずは画像検査を含めて骨壊死の評価を行い、病状の進行度を判断することが大切です。また、特にBP注射薬投与患者に関しては、顎骨腫瘍や顎骨への転移についての鑑別も注意しなければなりません。現在BRONJの効果的な治療法も未だ確立されておらず、経験に基づいた保存的療法が推奨されています。具体的には米国口

腔顎顔面外科学会のガイドラインに基づき、BRONJ病期分類に応じた治療法が行われています（表3）。

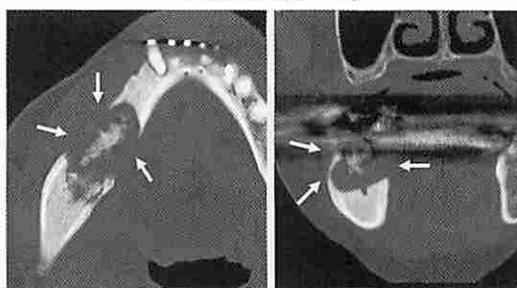
当科でもその治療方針に従い治療を行っていますが、完治は難しく、長期間にわたる管理が必要です。このような経験より、BP投与患者ではBRONJを発症しない様、予防に努めることが一番重要だと考えられます。

(表3) BRONJの臨床病期と治療方針

BRONJの病期		治療方針
潜在的リスク患者	BP治療を受けているが、骨壊死の症状は認めない。	・患者教育 ・定期検診と予防処置（治療の必要なし）
Stage 1	無症候性骨露出・骨壊死	・抗菌性含嗽剤、洗浄 ・3か月ごと経過観察 (外科的治療の適応にはならない)
Stage 2	疼痛と感染を伴う骨露出、骨壊死	・広域抗菌剤の投与 ・抗菌性含嗽剤、洗浄 ・疼痛コントロール ・軟組織を刺激する壊死骨の表層的除去
Stage 3	疼痛、感染、病的骨折、皮膚瘻孔、下顎下縁に及ぶ骨融解を伴う骨露出・骨壊死	・抗菌剤の投与、疼痛コントロール ・積極的デブリートマン ・外科的根治切除

85 歳、女性
骨粗鬆症に対し、フォサマック
5年以上内服。
原因：数年前の抜歯
治療：フォサマック内服の中止依頼、
消炎鎮痛、腐骨除去、洗浄

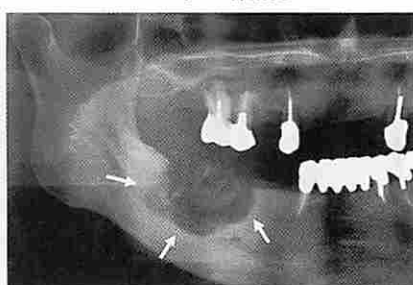
CT所見(遊離した骨)



口腔内所見



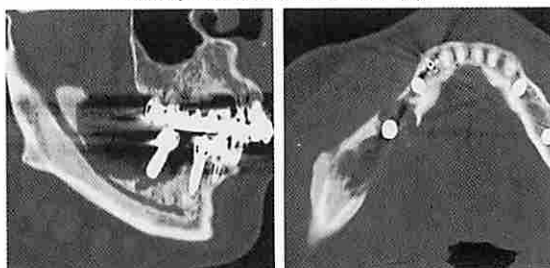
パノラマX線所見



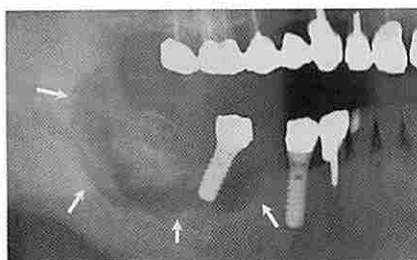
(写真1) BP経口薬により生じたBRONJ

58 歳、女性
乳癌の骨転移に対しゾメタ
1年間投与。糖尿病、肥満あり。
原因：自然発生
治療：消炎鎮痛、洗浄、(腐骨自然
脱落)、インプラント体除去

CT所見(遊離した骨とインプラント体)



パノラマX線所見



インプラント体と腐骨



(写真2) BP注射薬により生じたBRONJ

参考文献

- 1) 顎骨壊死を誘発するビスフォスフォネート Robert E. Marx著
- 2) the Quintessence 2010 vol.29 no.3 ビスフォスフォネート関連顎骨壊死の対策とは？
- 3) ビスフォスフォネート系薬剤と顎骨壊死 社会法人 日本口腔外科学会
- 4) 口腔外科ハンドマニュアル'09 ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死

新人です！よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 さかぐち のりあき 坂口 倫章

診療所名 坂口歯科医院

(診療所) 〒862-0950 熊本市水前寺1丁目17-32-2F

電 話／096-277-4182 FAX／096-277-4182

(自宅) 〒860-0081

熊本市京町本丁6-6-105

生年月日 昭和34年4月11日

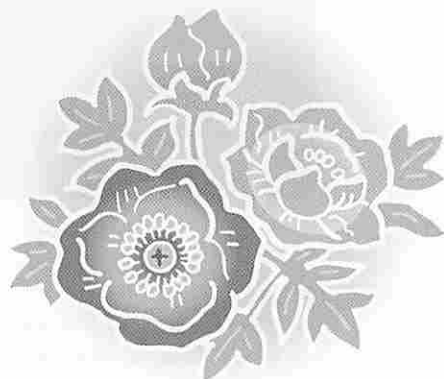
趣 味 読書

好きな言葉 特になし

経 歴 熊本高校

長崎大学歯学部 S63年卒

添島歯科医院20年間勤務





スポーツの広場



あつまるデンタル・ゴルフ会

平成22年 1月17日 15名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	本田 治夫	48	46	94	25	69
2位	田村 実雄	52	43	95	23	72
3位	奈良 健一	39	48	87	14	73
4位	安田 光則	46	48	94	19	75
5位	浜坂浩一郎	49	51	100	25	75
B.B.	宮崎 幸一	50	48	98	17	81

平成22年 2月21日 19名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	濱崎みどり	45	49	94	28	66
2位	福本早杜子	55	59	114	47	67
3位	青山 正志	42	43	85	18	67
4位	明受 清一	54	54	108	36	72
5位	沢村 亨	41	39	80	7	73
B.B.	寺島 美史	61	64	125	37	88

平成22年 3月21日 9名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	明受 清一	57	48	105	34	71
2位	北川 隆之	45	41	86	13	73
3位	坂井 満	50	42	92	19	73
4位	古賀 明	46	48	94	19	75
5位	山室 紀雄	51	48	99	20	79
B.B.	寺島 美史	61	61	122	37	85

熊本デンタル

平成22年 3月28日 10名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	甲斐 利博	40	42	82	10.8	71.2
2位	元島 博信	47	45	92	18.0	74.0
3位	稲葉 逸郎	38	36	74	0.0	74.0
4位	内田 隆	46	48	94	19.2	74.8
5位	本田 亘	46	47	93	18.0	75.0
B.B.	神戸 威	57	60	117	37.2	79.8

空港デンタル

平成22年 4月25日 13名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	大嶋 健一	42	44	86	12.0	74.0
2位	添島 正和	52	44	96	21.6	74.4
3位	渡辺 博	43	44	87	12.0	75.0
4位	甲斐 利博	45	48	93	18.0	75.0
5位	工藤 隆弘	45	45	90	14.4	75.6
B.B.	神戸 威	52	51	103	21.6	81.4



会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
2月22日	会務・庶務・会計報告 代議員会・総会の資料確認 定款検討委員会からの報告 ネットスパート設置完了に向けての作業予定について 熊本市介護認定審査会委員交代について
3月24日	帯山小学校学校歯科医変更について 会員管理システムについて
4月23日	会務・庶務・会計報告 〃

地 域 保 健 委 員 会

月 日	協 議 題
2月19日	パールラインマラソン出務確認 2010歯の祭典事業計画作成
3月10日	2010歯の祭典話合い
4月9日	2010歯の祭典全体会議

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
2月25日	平成22年度カレンダーの内容確認 平成22年度点数改定項目の抜粋 スタッフセミナーについて
3月1日	平成22年度カレンダー打合せ
3月19日	開放型連絡協議会 救急歯科協議会
3月25日	開放型連絡会について 点数改正について G Cスタッフセミナーについて 医療苦情について 医療相談について
3月26日	第3回口腔ケア研修会について
3月31日	平成22年度行事予定について
4月17日	

厚生委員会

月 日	協 議 題
2月19日	H22新年パーティー反省会 7月のピアパーティーに関して 入院入所者の集計
3月26日	ピアパーティーに関して
4月30日	ピアパーティーに関して ニューオータニ担当者と打合せ

広報委員会

月 日	協 議 題
2月19日	中岳148号編集
2月26日	中岳148号一校
3月5日	中岳148号二校 対外広報誌編集
3月19日	対外広報誌編集
4月1日	対外広報誌編集 かわら版4月号編集
4月27日	中岳148号反省 中岳149号目次決め かわら版5月号編集

学術委員会

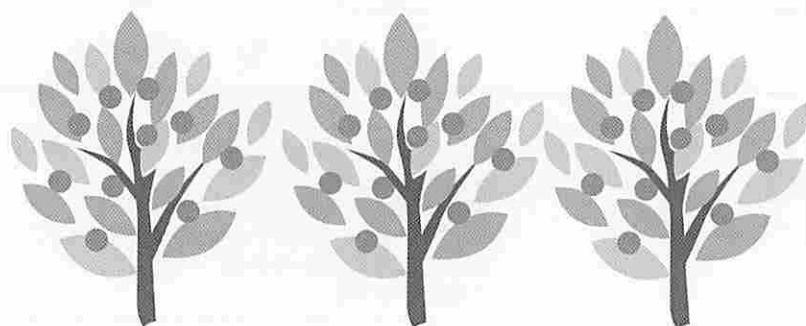
月 日	協 議 題
2月4日	E-systemの登録 講演会の進行
2月20日	「安全で手際のよい外来手術のポイント」 トラブルの予防と対処法、術後管理も含めて
3月11日	前回講演会の反省会 講演会準備の件について 次回篠原先生講演会（ファイザー）について
4月8日	学術講演会の役割分担の確認 日本歯科医師会研修会登録方法の説明 会議室利用時のPCプロジェクター、マイクの使い方の確認 9/4講演会について 来年初めの講演会について

社保委員会

月 日	協 議 題
2月18日	個別指導事前説明会の担当割り振りについて
2月25日	説明会について
3月4日	個別指導事前説明会打合わせ
4月14日	個別の具体例、カルテの記載方法について
4月22日	熊本市社保説明会の準備 点数改正説明会

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
2月23日	第58回小児保健研修会 平成21年度学校保健研修会 日本銀行企業健診 熊本県障害児（者）歯科保健推進協議会 思春期歯科保健推進モデル事業会議 エイズ対策推進会議
3月19日	熊本県障害児（者）歯科保健協議会報告 思春期歯科保健推進モデル事業会議報告 歯科衛生士会との会合 社保説明会
4月28日	学校歯科医変更報告 歯磨き巡回指導日程および担当決め 学校歯科保健推進大会出席予定 学校保健会予定 熊本市要保護児童対策地域協議会会議



総会資料

1. 会務報告

平成21年7月～平成22年1月末現在

理事会 月1回開催（H21. 7/16、8/20、9/29、10/22、11/7、12/21、H22. 1/27）

会務報告

総務報告、各委員会事業報告及び計画、臨時委員会事業報告及び計画

庶務報告

会計現況報告

協議

11/27 臨時理事会

常務理事会 月1回開催（H21. 7/15、8/18、9/25、10/20、11/19、12/17、H22. 1/21）

会務全般にわたり協議

総務

<対内>・新入会員対象オリエンテーション（7/4）

・監査（7/14）

・議長・副議長との打合せ（7/27）

・NECとの打合せ（7/29、9/2）

・市歯代議員会（7/30）

・市歯臨時総会（8/6）

・坂本仁郎弁護士事務所訪問（8/31）

・業務及び財産状況検査（9/28）

・タウンミーティング（11/20）

・熊本市歯科医師会支部長会忘年会（12/4）

・定款検討打合せ（12/11）

・北部3支部忘年会（12/11）

・年始挨拶廻り（1/4、5）

・支部会 東部3支部（1/9）、小島支部（1/14）、中央支部（1/15）、
南部支部（1/30）

<公益>

行政関係・熊本市慢性腎臓病対策推進会議（7/6）

・熊本市救急災害医療協議会（7/7、12/1）

・熊本市社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（7/7、9/1、11/10、1/19）

・熊本市国民健康保険運営協議会（7/8）

・熊本県新公益法人制度に関する説明会（7/13）

・熊本市歯科保健推進協議会における検討委員会（7/23、12/24）

・熊本市社会福祉審議会（8/20）

・熊本市歯科保健推進協議会（8/21）

・熊本市保健協議会委員総会（8/25）

- ・熊本市8020推進員合同研修会での講演会（9/4）
- ・熊本市介護予防サポーター養成講座（9/11）
- ・第2回栄養管理研修会での講演会（9/16）
- ・熊本市新型インフルエンザ対策協議会（9/30）
- ・歯っぴーかむカムひごまる協議会（9/30）、実行委員会（1/12）
- ・熊本空港航空機事故消防救難総合訓練（10/21）
- ・熊本市政令指定都市推進協議会報告会（11/5）
- ・国保運営協議会委員研修会（11/24）
- ・熊本市保健衛生審議会（11/27）
- ・熊本市地域歯科保健研修会（12/2）

地域歯科保健関係

- ・「2009歯の祭典」反省会（7/8）
- ・池上校区第4町内“口腔ケアで元気な毎日”講演（7/9）
- ・斉藤隆士氏の“黄綬褒章”受章を祝う会（7/29）
- ・ふる里龍田の夏まつり（8/2）
- ・シティエフエム出演（9/2、9、11/4、11）
- ・策33回健康教室講座 開講式（9/3）、講演（9/29）、閉講式（10/22）
- ・TKU「子育てすくすく☆こども博2009」出務（9/20）
- ・医商連携型まちづくり事業委員会（10/2）
- ・街なか図書室開設オープニングセレモニー（10/10）
- ・平成21年度熊本市民健康フェスティバル 開会式（10/17）、閉会式（10/18）
- ・平成21年度8020表彰式（10/17）
- ・いきいき未来のつどい実行委員会（10/21）
- ・西部方面隊創隊54周年記念行事記念式典・観閲行進（11/1）
- ・健軍・農村地域間交流フェスティバル&健康フェアオープニングセレモニー（11/21）
- ・次世代型まちづくり研究会によるワーキング会議（1/8）
- ・熊本市地域成人保健研修会実行委員会（1/28）

保健・医療関連諸団体

- ・国立病院機構熊本医療センターとの協議会（7/2）
- ・策59回日本病院学会 学会長招宴（7/22）、開会式（7/23）、医療人の集い（7/23）
- ・熊本市地域リハビリテーション協議会委員総会（7/30）
- ・国立病院機構熊本医療センター地域医療支援病院運営委員会（8/3）
- ・熊本市民健康フェスティバル総務部会（8/4）
- ・熊本有病者歯科医療研究会運営委員会（8/4、11/17）
- ・済生会熊本病院地域医療支援病院運営委員会（8/12、11/11）
- ・三歯会（9/3）
- ・国立病院機構熊本医療センター新病院完成記念（9/12）
- ・第46回九州首市医師会連絡協議会懇親会（9/26）
- ・熊本県言語聴覚士会設立10周年記念式典及び祝賀会（9/27）
- ・第28回九州八市歯科医師会役員連絡協議会（10/16）

- ・第12回熊本市入院入所者歯科診療運営委員会（10/23）
- ・各郡市歯科医師会会長・専務理事会議（12/5）
- ・訪問介護検討委員会（1/8）
- ・熊本市保健医療専門団体連合会理事会（1/19）

<医政関係>

- ・参議院議員 木村仁忘年会（12/4）
- ・2010年民主党新春賀詞交歓会（1/23）
- ・島田幾雄後援会「幾友会新年のつどい」（1/28）

厚生委員会

7/24、8/21、9/25、10/16、11/20、12/18、1/14、19 委員会開催
 第33回熊本市歯科医師会親睦ビアパーティー「ホテルニューオータニ熊本」112名（7/4）
 平成21年度健康診断「県歯会館」会員204名、家族・従業員850名（9/7、8、9、10、11）
 シティエフエム出演（9/9）
 熊本市民健康フェスティバル出務「くまもと県民交流館バレア・鶴屋ホール」（10/17、18）
 第12回熊本市入院入所者歯科診療運営委員会（10/23）
 平成22年熊本市歯科医師会新年懇親パーティー「ホテルニュースカイ」131名（1/23）

地域保健委員会

「2009歯の祭典」反省会（7/8）
 熊本市民健康フェスティバル企画準備委員会（7/13）
 「歯っぴーキッズ」の実施状況報告会議（7/15）
 三歯会（9/3）
 子ども文化会館における無料歯科相談（8/23、11/29、1/31）
 市立幼稚園フッ素塗布（9/4、8、10、17、18、24、25、12/1、3、10、11、17、18、22）
 平成21年度「8020表彰事業」及び「歯たちの健診事業」打合せ会議（9/16）
 KKT「子育て応援団すこやか2010」実行委員会（9/18）
 TKU「子育てすくすく☆こども博2009」出務（9/20）
 第33回健康教室講座講演（9/29）
 熊本市民健康フェスティバル運営委員会（10/2）
 歯たちの健診事業「学園祭での無料健診」九州中央リハビリテーション学院（10/11）、
 崇城大学（10/31）
 熊本市民健康フェスティバル出務「くまもと県民交流館バレア・鶴屋ホール」（10/17、18）

学術委員会

シティエフエム出演（9/2）
 第12回熊本市入院入所者歯科診療運営委員会（10/23）
 ○平成21年度第1回学術講演会
 日時：平成21年11月28日（土）午後2時半より「熊本県歯科医師会館3階市会議室」
 演題：「口臭治療を取り入れた予防歯科・審美歯科への発展モデル」
 講師：東大阪市開業 本田 俊一 先生
 ・中岳スタディー原稿調整

- ・臨床Q&A作成（毎月）
- ・本会ホームページ更新、維持管理（毎月）

学校歯科委員会

- 熊本市西部ブロック養護教諭研修会講演（8/19）
- 熊本県学校保健研究協議大会（8/23）
- 熊本市学校保健会企画委員会（8/25）、総務委員会（8/27）
- 三齒会（9/3）
- 熊本市思春期歯科保健推進モデル事業担当者会議（9/11、12/21）
- 熊本市エイズ総合対策推進会議（9/14）
- 熊本市学校保健会理事会（10/16、1/21）
- 熊本市健康フェスティバル出務「くまもと県民交流館パレア・鶴屋ホール」（10/17、18）
- 平成21年度歯磨き巡回指導（後期）「歯と口の健康教室」（11/4、6、9、13、18、25、27）
- 学校歯科研修会（11/7）
- 熊本市地域歯科保健研修会講演（12/2）
- ・熊本市機関誌「ばらんす」への寄稿
- ・企業健診の案内
- ・学校歯科医変更

広報委員会

- 三齒会（9/3）
- ・中岳146、147号発行（9月、12月）
- ・かわら版各月発行
- ・本会主催事業、取材

医療管理委員会

- 国立病院機構熊本医療センターとの協議会（7/2）
- 熊本有病者歯科医療研究会運営委員会（8/4、11/17）
- 健康くまもと21“健くま塾”講演（8/5）
- 三齒会（9/3）
- 国立病院機構熊本医療センター新病院完成記念（9/12）
- 国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会
- 「国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター」（10/5）
- 熊本市健康フェスティバル出務「くまもと県民交流館パレア・鶴屋ホール」（10/17、18）
- 救急蘇生法講習会「国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター」（11/12）
- 日本歯科医療管理学会九州支部総会・学術大会（11/15）
- ・熊本市機関誌「ばらんす」への寄稿
- ・放射線漏洩測定器の各支部貸出し管理
- ・平成22年度税務カレンダー編集・作成
- ・広告規制に対する対応

◇医療相談委員会 H21.8月～H22.1月 相談件数 8件

社会保険委員会

7/9、8/19、9/16、10/28、11/13、12/18、1/29 委員会開催

新入会員対象オリエンテーション（7/4）

都道府県歯科医師会レセプトオンライン対策担当理事連絡協議会（9/30）

シティエフエム出演（11/4）

社保個別説明会（11/13）

- ・指導医療官交代に伴い前任者との違いについて把握
- ・個別指導後の改善指摘事項の記載と今後の対応
- ・新規指導後の再指導について
- ・個別指導該当者への対応と留意点
- ・レセプトオンライン化への対策
- ・日歯レセックの説明について
- ・緊急社保説明会の実施について検討
- ・年末年始個別指導該当者への準備
- ・歯管算定要件の見直し
- ・混合歯列期のスケーリングについて
- ・H21年の返戻、査定に対する検討
- ・H21年度該当者への対応
- ・H22年度の共同指導をふまえたカルテ講習会開催
- ・審査機関から現状と今後の対応を聞く

熊本市歯科保健推進事業部会

企業健診推進部会

H21. 6月～H21. 12月	熊本市職員、家族	健診者数	34名
H21. 6月～H21. 12月	熊本市妊婦歯科健診事業	健診者数	388名
H21. 7月～H21. 12月	熊本市通所型介護予防事業	16診療所	対象者数21名
H21. 10/19	ヤクルト本社熊本工場	健診者数	30名

介護認定審査会

岩村泰行（7/6、31、8/3、17、9/7、28、10/5、19、11/2、16、12/7、21、1/4、18）

長美智恵（7/1、15、8/5、19、9/2、16、10/7、21、11/18、12/2、16、1/6、20）

蔵本和咲（7/8、8/12、26、9/9、30、10/14、28、11/11、25、12/9、1/13、27）

田中俊憲（7/1、15、8/5、19、9/2、16、10/7、21、11/4、18、12/2、16、1/6、20）

臨時委員会

定款検討臨時委員会（12/1、1/20）

医道委員会

入会申し込み時、月1回開催

入会者 4名

鈴木憲久（7/7）、田尻征久（8/10）、古賀 裕（9/7）、坂元彦太郎（10/20）

2. 庶務報告

平成21年7月～平成22年1月末現在

1. 現在会員数	355名		
一般会員	287名		
親子会員	8名		
終身会員	49名		
特別勤務会員	0名		
特別会員	11名		
勤務会員	0名		
2. 入会者			
H21. 7. 28 鈴木 憲久	熊本市春日6-5—23		南部
H21. 8. 25 田尻 征久	〃 出町4-26 出町コーポ101号		北部 1
H21. 9. 29 古賀 裕	〃 上南部2-2-2 ゆめタウンサンピアン 3 F		東部 3
H21. 10. 27 坂元彦太郎	〃 下江津7-7—1		東部 2
3. 物故者			
H21. 10. 25 井手 一之	熊本市新生1-6-8		東部 2
4. 退会者			
H21. 7. 31 本田 剛史	熊本市上南部2-2-2 ゆめタウンサンピアン 3 F		東部 3
H21. 7. 31 杉野 弘武	〃 出仲間3-3-17		南部
H21. 11. 30 松本 眞典	〃 南坪井町3-3		中央
H21. 11. 30 清水 睦博	〃 水道町9-31損保ジャパン水道町ビル 4 F		中央
H21. 11. 30 中川 真樹	〃 大江1-20-20		東部 1
5. 代表歯科医変更			
なし			

第1号議案

平成22年度熊本市歯科医師会事業計画案

総 務

1. 医療・保健・福祉制度への対応
2. 関係諸機関との連携
3. 歯科保健施策の推進
4. 8020達成事業の推進
5. 歯科用品商組合との協議会
6. 有病者歯科医療研究会への対応
7. 新入会員オリエンテーション事業
8. レセプトオンライン化への対応
9. インターネットファックスによる全会員
対内連絡網構築
10. 法人改革へ向けての取組み
11. 熊本市の合併及び政令市への対応

厚生委員会

1. 第34回熊本市歯科医師会親睦大会の開催
2. 平成23年熊本市歯科医師会新年懇親パー
ティー開催
3. 入院入所者歯科診療の集計
4. 会員、家族、スタッフの健康診断
5. 熊本市医師会との検討協議会（入院入所
者運営委員会）
6. 代診派遣制度の管理
7. 熊本市人権啓発市民協議会への対応

地域保健委員会

1. 歯の衛生週間行事
 - ①歯の祭典
 - ②全会員による歯科無料健診
 - ③子ども文化会館での無料健診（歯っぴー
キッズ）
2. 天草パールラインマラソン出務
3. 熊本市立幼稚園フッ素洗口事業（年1回
指導）
4. 健康教室講座講演出務
5. 熊本市民健康フェスティバル出務（同時
に8020表彰）
6. 三歯会出務

7. 大学学園祭での無料歯科健診及び相談
（歯たちの健診）
8. T K U「子育てすくすく☆こども博2010」
出務
9. 熊本市8020健康づくりの会との協議会

学術委員会

1. 学術講演会
2. 臨床Q & A作成
3. 本会ホームページ維持管理
4. 中岳原稿調整
5. レセプトオンライン化への対応
6. インターネットファックスによる全会員
対内連絡網構築

学校歯科委員会

1. 熊本市学校保健会歯科部としての活動並
びに協力参加
2. 熊本市立保育園、幼稚園、小学校、中学
校、高等学校の園医、校医の推薦
3. 熊本県学校保健研究協議大会への参加
4. 歯の衛生週間の期間、ビデオ・DVD等の
貸出
5. 熊本市立小学校での歯磨き巡回指導
6. 熊本小児保健研究会、熊本市エイズ総合
対策推進会議出務
7. 学校歯科医の研修
8. 熊本市思春期歯科保健推進モデル事業会
議出務
9. 企業健診の案内
10. 熊本市要保護児童対策地域協議会への対
応

広報委員会

1. 「中岳」年4回発行（6、9、12、3月）
2. 「かわら版」各月発行（年12回）
3. 市歯会主催各行事取材
4. 対外広報誌作成

5. インターネットファックスによる全会員
対内連絡網構築

医療管理委員会

1. スタッフ研修セミナー
 - ・スタッフレベルアップセミナー（講義・実習）〔5月〕
 - ・スタッフ対象講演会
2. 三齒会
3. 救急蘇生法講習会（国立病院機構熊本医療センターと共催）〔11月〕
4. カレンダー作成
5. 労務・歯科医療管理経営研修会
6. 医療相談
7. その他
 - ①院内掲示ポスター類の更新及び新製
 - ②国立病院機構熊本医療センター開放型病院への対応及び医療連携の検討
 - ・協議会〔7月、1月〕
 - ・連絡会〔9月、2月〕
 - ③放射線漏洩測定器の支部貸出、管理〔6月より〕
 - ④医療管理学会対応
8. レセプトオンライン化への対応
9. 有病者歯科医療研究会への対応
10. 国立病院機構熊本医療センターでの口腔ケア研修会運営事業

社保委員会

1. 県社保委員会及び理事との緊密な連絡と協議
2. 社保関連諸会議、研修会への出務と協力
3. 保険診療、請求事務に対する研究と対応
4. 疑義解釈の改正に対する迅速な対応と説明会の開催
5. 点数改正及び保険診療に関する説明会、講習会の開催
6. レセプト返戻等に対する質疑応答
7. 被保険者からの苦情、質問等への対応
8. 支部別社保担当者との会議および支部別の社保説明会
9. 会員へのカルテ記載等の個別相談への出務
10. 緊急社保勉強会への対応
11. 介護保険改正への対応及び対策
12. かわら版青本の勉強会作成
13. レセプトオンライン化への対応
14. 新入会員オリエンテーション事業



第2号議案

平成22年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出予算(案)

款 項 目	科 目	予算額	前年度予算額	増	減	備 考
I 事業活動収支の部						
i. 事業活動収入						
1	基本財産運用収入	63,000	589,500		526,500	
1	預金利子	63,000	589,500		526,500	
2	入会金収入	8,000,000	8,000,000			
3	会費収入	28,623,000	27,523,000	1,100,000		
1	均等割	17,774,000	17,022,000	752,000		月4,500円
2	保険診療負担金	10,848,000	10,500,000	348,000		保険診療収入の1,000分の1
3	過年度会費	1,000	1,000			前年度未納者
4	事業収入	8,067,000	8,266,000		199,000	
1	健診料収入	1,091,000	1,271,000		180,000	妊婦歯科健診・企業健診
2	委託料収入	6,976,000	6,995,000		19,000	就学時健診・休日診療・介護予防事業
5	補助金等収入	4,200,000	4,070,000	130,000		
1	県歯より事業助成金	3,600,000	3,470,000	130,000		会員1人あたり10,000円位
2	補助金収入	600,000	600,000			歯の衛生週間・国保組合補助金
6	雑収入	21,000	15,500	5,500		
1	預金利子	1,000	500	500		
2	雑入	20,000	15,000	5,000		依頼書、入歯手模代、企業健診手数料
事業活動収入合計 (A)		48,974,000	48,464,000	510,000		
ii. 事業活動支出						
1	事業費支出	34,303,000	35,132,000		829,000	
1	委員会支出	15,402,000	15,400,000	2,000		
1	学術委員会費	1,403,000	1,573,000		170,000	
2	地域保健委員会費	1,328,000	1,768,000		440,000	
3	社会保険委員会費	1,786,000	1,318,000	468,000		
4	医療管理委員会費	2,085,000	2,049,000	36,000		
5	広報委員会費	2,432,000	2,349,000	83,000		
6	厚生委員会費	3,367,000	3,485,000		118,000	
7	学校歯科委員会費	1,814,000	1,825,000		11,000	
8	各種委員会費	1,187,000	1,033,000	154,000		医道委員会旅費、臨時委員会
2	医政費	2,000,000	2,280,000		280,000	
3	地域歯科保健活動支出	11,301,000	11,820,000		519,000	
1	衛生週間事業費	3,200,000	3,700,000		500,000	
2	地域活動費	8,101,000	8,120,000		19,000	就学時健診・休日診療・介護予防事業他
4	会費費	2,997,000	2,990,000	7,000		理事会・代議員会・対外会費 他
5	支部分担金	1,113,000	1,074,000	39,000		会員1人3,000円
6	健診事業支出	1,190,000	1,190,000			
1	健診料	1,190,000	1,190,000			熊本市職員健診・妊婦歯科健診
7	入院入所者事業支出	0	78,000		78,000	
1	薬品費	0	8,000		8,000	
2	補修管理費	0	70,000		70,000	
8	補助金等支出	300,000	300,000			
1	県歯科衛生士会補助金	100,000	100,000			
2	県歯熊本市支部補助金	100,000	100,000			
3	市歯科技工士会補助金	100,000	100,000			

款 項 目	科 目	予算額	前年度予算額	増	減	備 考
2	管理費支出	24,077,200	22,788,200	1,289,000		
1	渉外費	1,450,000	1,350,000	100,000		香典代・御樽代等
2	役員報酬	5,443,200	5,443,200			役員15名分
3	職員給料	5,104,000	5,050,000	54,000		職員 3 名分
4	職員諸手当	2,700,000	2,670,000	30,000		職員 2 名分
5	厚生費	1,400,000	1,400,000			事業主保険料等
6	旅費	1,305,000	1,200,000	105,000		交通費
7	需要費	2,760,000	2,760,000			郵送費、TEL FAX料 他
8	事務所費	420,000	420,000			水道光熱費 共益費等
9	備品費	150,000	150,000			
10	委託費	1,900,000	900,000	1,000,000		税理士顧問料 コンピュータ管理費
11	使用料及び賃借料	200,000	200,000			コンピュータリース料
12	租税公課	30,000	30,000			消費税
13	雑費	1,215,000	1,215,000			封筒印刷 議事録作成費他
3	他会計への繰入金支出	2,900,000	2,900,000			
1	退職積立金支出	900,000	900,000			
1	役員退職金支出	540,000	540,000			
2	職員退職金支出	360,000	360,000			
2	基本財産繰入金支出	2,000,000	2,000,000			
4	法人税等支出	200,000	200,000			法人税・事業税等
事業活動支出合計 (B)		61,480,200	61,020,200	460,000		
事業活動収支差額 (C) A - B		-12,506,200	-12,556,200	50,000		
II 投資活動収支の部						
i. 投資活動収入						
1	固定資産売却収入	0				
投資活動収入合計 (D)		0	0			
ii. 投資活動支出						
1	固定資産取得支出	0				
投資活動支出合計 (E)		0	0			
投資活動収支差額 (F) D - E		0	0			
III 財務活動収支の部						
i. 財務活動収入						
1	借入金収入	1,000	1,000			
財務活動収入合計 (G)		1,000	1,000			
ii. 財務活動支出						
1	借入金返済支出	1,000	1,000			
財務活動支出合計 (H)		1,000	1,000			
財務活動収支差額 (I) G - H		0	0			
IV 予備費支出 (J)		2,493,800	2,443,800	50,000		
当期収支差額 (K) C + F + I - J		-15,000,000	-15,000,000			
前期繰越収支差額 (L)		15,000,000	15,000,000			
次期繰越収支差額 (M) K + L		0	0			

第3号議案

平成22年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算（案）

款	項	目	科	目	予算額	前年度予算額	増	減	備	考
I 収入の部										
1				事業収入	20,000	20,000				
	1			入院入所者事業収入	20,000	20,000				
		1		機械使用料収入	20,000	20,000				入院者機械代
2				雑収入	60,000	31,268	28,732			
	1			会議室料収入	55,000	15,000	40,000			会議室使用料
	2			雑収入	5,000	16,268		11,268		ガイドブック印税・その他
収入合計（A）					80,000	51,268	28,732			
II 支出の部										
1				事業費支出	10,000	0	10,000			
	1			入院入所者事業支出	10,000	0	10,000			
		1		補修管理費支出	10,000		10,000			
2				管理費支出	41,000	40,000	1,000			
	1			寄附金支出	10,000	10,000				
	2			水道光熱費支出	20,000		20,000			
	3			租税公課支出	1,000	0	1,000			
	4			雑支出	10,000	30,000		20,000		
3				法人税等支出	29,000	20,000	9,000			法人税・事業税等
支出合計（B）					80,000	60,000	20,000			
当期収支差額（C）A－B					0	－8,732	8,732			
前期繰越収支差額（D）					20,000	28,732		8,732		
次期繰越収支差額（E）C＋D					20,000	20,000				

第4号議案

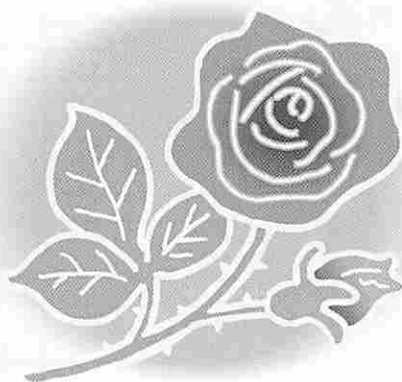
平成22年度熊本市歯科医師会役職員退職積立金会計予算（案）

款	項	目	科	目	予算額	前年度予算額	増	減	備	考
I 収入の部										
1				他計会計からの繰入金収入	900,000	900,000				
	1			役員退職積立金収入	540,000	540,000				
	2			職員退職積立金収入	360,000	360,000				
2				補助金等収入	2,000	0	2,000			
	1			中退共掛金助成金収入	2,000	0	2,000			
3				雑収入	5,000	2,000	3,000			
	1			預金利子収入	5,000	2,000	3,000			
収入合計（A）					907,000	902,000	5,000			
II 支出の部										
1				管理費支出	1,787,280	707,280	1,080,000			
	1			退職金支出	1,080,000	0	1,080,000			
		1		役員退職金支出	1,080,000	0	1,080,000			15名分
		2		職員退職金支出	0	0				
2				職員退職金掛金支出	707,280	707,280				2名分
支出合計（B）					1,787,280	707,280	1,080,000			
当期収支差額（C）A－B					－880,280	194,720		1,075,000		
当期役員積立金収支差額					－540,000	540,000		1,080,000		
当期職員積立金収支差額					－340,280	－345,280	5,000			
前期繰越収支差額（D）					2,535,162	2,340,442	194,720			
前期役員積立金収支差額					585,000	45,000	540,000			
前期職員積立金収支差額					1,950,162	2,295,442		345,280		
次期繰越収支差額（E）C＋D					1,654,882	2,535,162		880,280		
次期役員積立金収支差額					45,000	585,000		540,000		
次期職員積立金収支差額					16,909,882	1,950,162		340,280		

第5号議案

平成22年度熊本市歯科医師会弔慰金制度会計予算（案）

款	項	目	科	目	予算額	前年度予算額	増	減	備	考
I 収入の部										
1				負担金収入	3,240,000	2,602,500	637,500			その都度1,500円
2				雑収入	10,000	0	10,000			
	1			預金利子収入	5,000	0	5,000			
	2			雑収入	5,000	0	5,000			
収入合計（A）					3,250,000	2,602,500	647,500			
II 支出の部										
1				事業費支出	3,200,000	35,571,000		32,371,000		
	1			給付金支出	3,000,000	35,371,000		32,371,000		
		1		傷病見舞金支出	0	200,000		200,000		【一般より支出】
		2		香典支出	2,500,000	2,380,000	120,000			会員5名分
		3		見舞給付金支出	500,000	0	500,000			
		4		生前給付金支出	0	32,791,000		32,791,000		
	2			供花費支出	200,000	200,000				生花代
2				管理費支出	20,000	20,000				
	1			通信費支出	10,000	10,000				
	2			雑支出	10,000	10,000				
3				予備費	30,000	11,500	18,500			
支出合計（B）					3,250,000	35,602,500	1,080,000	32,352,500		
当期収支差額（C）A－B					0	－33,000,000	33,000,000			
前期繰越収支差額（D）					0	33,000,000		33,000,000		
次期繰越収支差額（E）C＋D					0	0				



編集後記

ゴールデンウィークが終わったのもつかの間、お隣の宮崎県では家畜伝染病が猛威をふるっており、もはや対岸の火事ではなさそうな感じです。熊本県も少し市外へ足を運ぶと家畜農家は沢山あるので心配になります。被害が拡大せずに早く終息してほしいものですね。

(J.H)

熊本市歯科医師会会誌

第 149 号

発行日 平成22年6月15日発行
発行所 社団法人熊本市歯科医師会
熊本市坪井2丁目4番15号
<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>
[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)
TEL (343) 6669
FAX (344) 9778

発行責任者 清村 正 弥

印刷所 コロニー印刷
熊本市二本木3丁目12-37
TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294